

消防だより

令和6年(2024年)
7月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 3件
救急 : 815件
救助 : 9件

令和6年度全国統一防火標語 「守りたい 未来があるから 火の用心」

救急の日

「救急の日」は救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深めること、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的として昭和57年(1982年)に定められ、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」としています。

救急現場に居合わせた人を「バイスタンダー」といい、救急車が来るまでの間、バイスタンダーが適切な応急手当てを行うことで、救命や症状の悪化防止に大きく貢献できる場合があります。大切な人を救えるのは、あなたです。救急車が到着するまでの数分間は、その人の命を救う、貴重な時間です。大切な人を救うためにも、ぜひ普通救命講習や応急手当て講習を受講しましょう。

住宅用火災警報器の設置・維持管理

皆さまのお住まいは、住宅用火災警報器を正しく設置していますか？

住宅用火災警報器は寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部にも設置が必要です。就寝中に火災に気付かず、逃げ遅れてしまうのを防ぐため、正しく設置しましょう。

昨年、当町では住宅用火災警報器を設置していたことにより、大切な命と財産を守ることができた奏功事例が2例ありました。

また、住宅用火災警報器が古くなると、正常に火災を感じなくなる場合があります。設置してから10年を経過したものは新しいものに取り替えましょう。10年が経過していない場合でも、定期的に点検を行い、正常に作動するか確認しましょう。

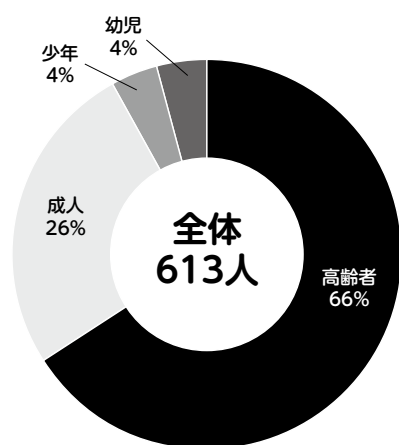
救急出動の状況

令和6年(2024年) 1月～6月

令和6年(2024年)上半期(1月～6月)の救急出動件数は658件、搬送した人数は613人でした。昨年の同期間と比較すると、出動件数は14件、搬送人数は12人それぞれ増加しています。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が402人と最も多く、全体の66%を占めています。成人は157人、少年は27人、乳幼児は27人、新生児は0人でした。

※新生児/生後28日未満
乳幼児/生後28日以上/満7歳未満
少年/満7歳以上/満18歳未満
成人/満18歳以上/満65歳未満
高齢者/満65歳以上



病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

